

製品名: AKAP 250 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06724**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | AKAP12 |
| 別名 | AKAP12; AKAP250; A-kinase anchor protein 12; AKAP-12; A-kinase anchor protein 250 kDa; AKAP 250; Gravin; Myasthenia gravis autoantigen |
| 遺伝子 ID | 9590.0 |
| SwissProt ID | Q02952 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト AKAP12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350 |

背景

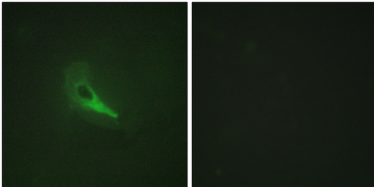
A キナーゼアンカータンパク質 (AKAP) は、構造的に多様なタンパク質群であり、共通の機能としてプロテインキナーゼ A (PKA)

の調節サブユニットに結合し、ホロ酵素を細胞内の特定の場所に限定する。この遺伝子は AKAP ファミリーのメンバーをコードしている。コードされているタンパク質は、内皮細胞、培養線維芽細胞、および骨肉腫細胞で発現する。プロテインキナーゼ A、C、およびホスファターゼと結合し、シグナル伝達における足場タンパク質として機能する。このタンパク質と RII PKA は細胞周縁部に共局在する。このタンパク質は細胞増殖関連タンパク質である。重症筋無力症患者は、このタンパク質に対する抗体を産生する可能性がある。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2008 年 7 月];注意:ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、疾患:グラビンの C 末端に対する抗体は、重症筋無力症 (MG) の患者によって産生される可能性があります。、ドメイン:残基 266 と 557 の間に位置する多塩基領域は、PKC との結合に関与しています。、機能:タンパク質キナーゼ A (PKA) とタンパク質キナーゼ C (PKC) の細胞内区画化を媒介するアンカータンパク質です。、誘導:リゾホスファチジルコリン (lysoPC) によって活性化されます。、PTM:DNA 損傷時にリン酸化され、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性:3 つの AKAP ドメインを含みます。細胞内局在:皮質細胞骨格の一部である可能性があります。、サブユニット:二量体の RII- α 調節サブユニットに結合します。PKC、組織特異性: 内皮細胞、培養線維芽細胞、骨肉腫で発現しますが、血小板、白血球、単球細胞株、末梢血細胞では発現しません。

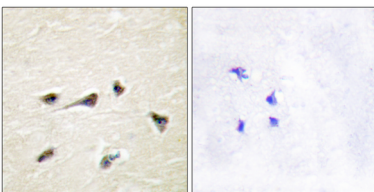
研究分野

-

画像データ



AKAP12 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



AKAP12 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。